

厚別山本公園の計画について

平成23年11月 札幌市環境局みどりの推進部

公園の事業位置と規模

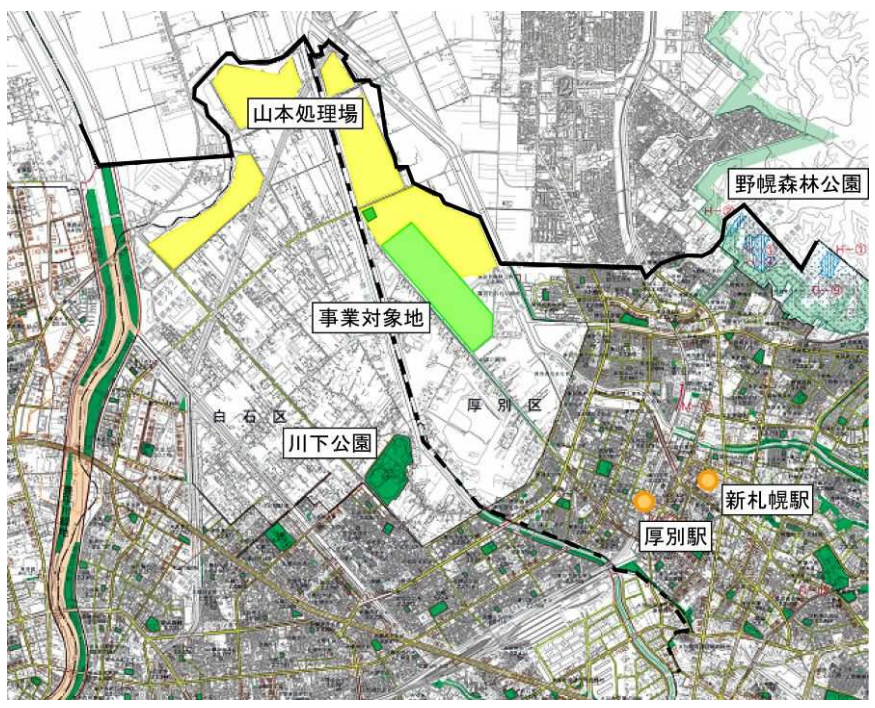
山本処理場（全体面積約270ha）のうち、山本地区（約52ha）について公園造成整備の着手に向けて現在準備を行っております。

公園整備計画の策定にあたっては①札幌の自然環境を生かしながら、市街地を緑の帯で包み込もうとする「環状グリーンベルト構想」の拠点のひとつ

②休息や鑑賞、散歩、運動などを目的に市民が総合的に利用できる「総合公園」

を基本的な考え方としております。

なお、埋立中の他の区域においても、将来は緑化を進める予定であり、今回の公園事業は、これらの先行事例となるものです。



これまでの経過と年次別のスケジュール

平成20年度 環境影響評価方法書の作成、環境影響評価審議会での審議
 平成21年度 現地調査等の環境調査
 平成22年度 影響予測評価
 平成23年度 環境影響評価準備書の作成、環境影響評価審議会での審議
 平成24年度 環境影響評価評価書の作成、事業着手
 整備工事の期間は、現場着手からおよそ10年間を想定しております。

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25～
環境への配慮	●方法書	調査の実施	影響予測	●準備書	●評価書	
公園整備計画		基本計画	基本設計 市民意見の反映	修正	●都市計画の決定	実施設計・整備事業

厚別山本公園整備内容の方向性（整備方針）

この公園についての札幌市の基本的な考え方と、地域の皆様をはじめとする市民との意見交換結果を合わせて、以下の方針として整理し、整備案を検討しました（下図計画案及び裏面イメージ）。

みどり環境づくりのシンボルとなる公園

多様な生態系を生み出す 利用度と自然度のバランス エコロジカルな取り組み
 人とみどり環境が関われる場づくり・仕組みづくりが必要

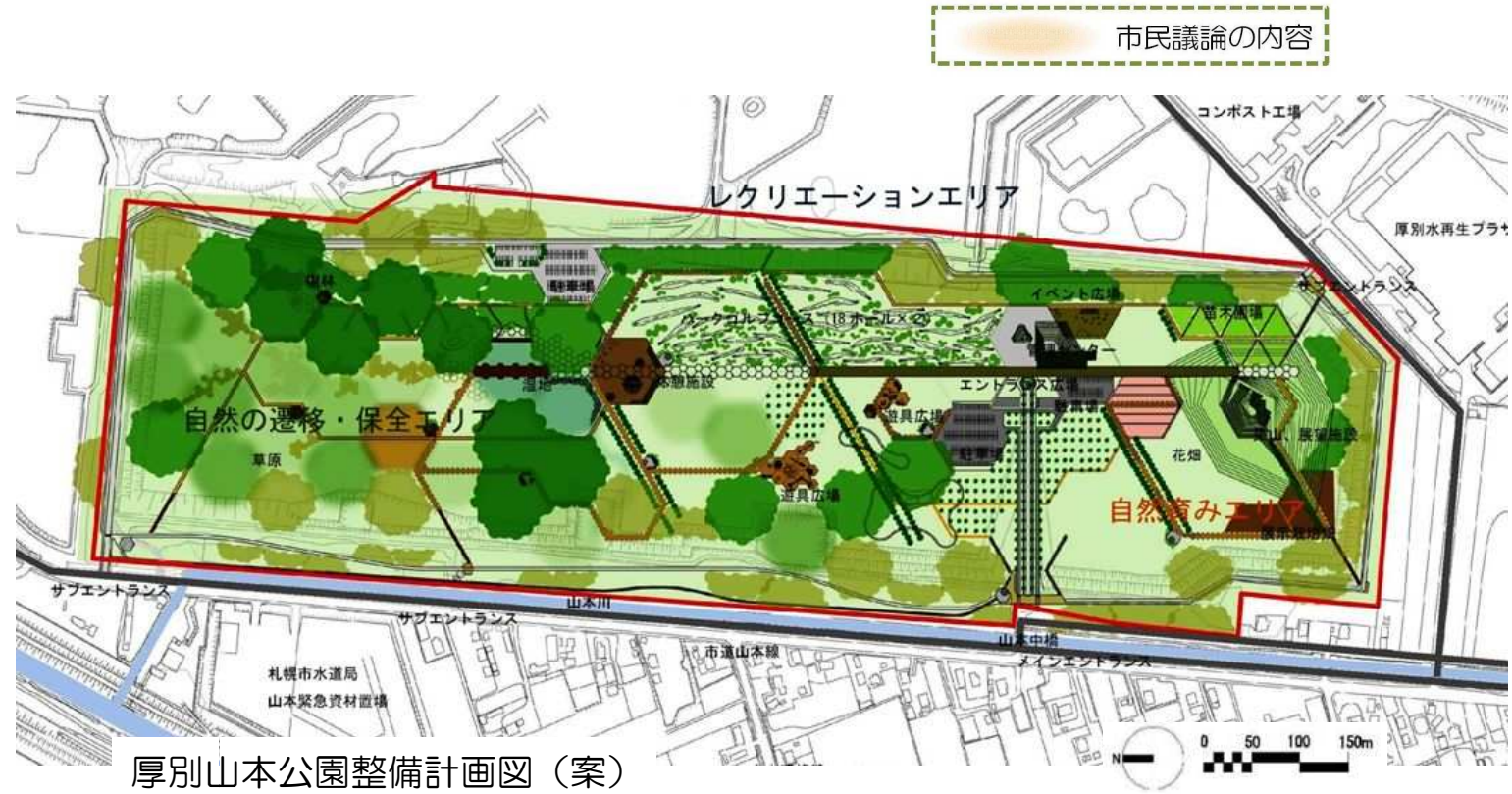
場づくり

- みどりとの関わりの中で多様な学び・遊び・交流ができる場
 - ・自然観察・森林浴・圃場空間・水遊び
- 幅広い層に親しまれる癒しの場
 - ・くつろぎ空間・親水空間・眺望空間
 - ・ユニバーサルな公園

仕組みづくり

- 人・地域の歴史文化・周辺環境とオープンに繋がり進化し続ける仕組み
 - ・みどり創造運動
 - ・みんなでつくり続ける公園
 - ・持続可能・次代に受け継ぐ
 - ・市民参加
 - ・時代に合わせた施設更新
 - ・歴史、文化、人との繋がり

※みどり環境…樹木や自然環境だけではなく、みどりに関わる人や生活も含めた環境



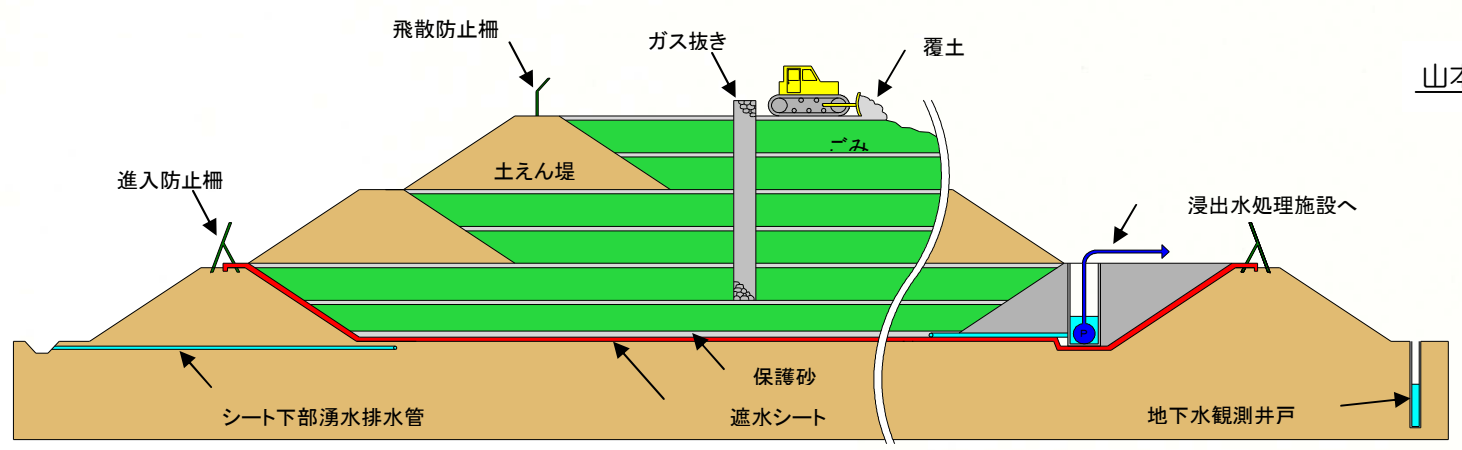
厚別山本公園整備計画図（案）

担当 札幌市環境局みどりの管理課(造園担当課)
 計画係 高杉（電話 011-211-2525）

厚別山本公園整備イメージ

(計画面積 約52ha)

※今後の基礎地盤調査や環境調査結果などによって、整備内容を修正する場合があります。



埋立処分場断面模式図